



安積二小だより

創立150周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学校便り【号外】
令和7年【夏休み発行】
文責：校長 齋藤和彦

子どもの“髪染め”について 考えてみませんか

「安積二小は，“髪染めていいんだって..”
“二小はいいなあ..”って、他校のスポ少
保護者が言ってますよ。
「中学校になると、校則が厳しいから、小学校
のうちに、髪染めをやらせたい」
「小学校は、何も言われないから..」
「あの子も..あの子も..やってるでしょう」

・・・このような風潮からか、夏休み前のこの
時期に，“髪染め”がだいぶ増えてきました。

各校校長の間でも“髪染め”についての指
導(啓発)は、微妙な領域で、なかなか難しい..
保護者の攻撃的な態度や保護者の価値観、言
い分に苦慮している話を耳にします。

- ・髪の色まで学校が決めるんですか！
- ・保護者の責任で染めて何が悪いのですか！
- ・外国では、髪の色やピアスだってあります！
- ・子どもの個性を認めないんですか！
- ・プール後にピアスの穴の消毒を保健室でしてください。
- ・ダンスをやっているから、緑色にします。
- ・他にも、ここに紹介できない理由も..多々。

2学期始まりに向けて、この機に“髪染め”
について、ご家庭でお子さんと一緒に考えて
いただきたく、校長の考えをお示しします。
(※安積二小の全職員の総意でもあります)

結論は，“髪染め”は好ましくありません。

<理由は>

学校は、授業や生活・行事等を通して、学
力だけでなく、社会性や自主性・判断力を
育てる場であるからです。

その基盤として、TPOに応じた言動や
ふるまいを集団の学びの場の規範とし
て..皆が気持ちよく、安心して過ごすこ
とができる場づくりが大切だからです。

(TPOとは、T:時間・P:場所・O:場面によって行動
や服装、言葉遣い等のふるまいを使い分けること)
※ 保護者と共に考え..培っていく規範として

~きっと、これだけでは納得できませんね。

そのために、「安積二小のよい子の一日」
約束があります。(家庭プリント配付)

- 学校には、学習に不必要なものは持って
きません。(学習に集中するためです)
- ・飾り満載の筆入れや匂い付の消しゴム
- ・ランドセルに付けるお守り等は一つ
- ・ゲームやぬいぐるみも持ってきません
- 身なりはどうでしょうか？
- ・かわいいから..きれいだからと、ネイル
やネックレス、ピアスをしますか？
- ・流行だから..好みだからと、厚底シュー
ズやサンダル、下駄で登校しますか？
- ・お化粧だって..しませんね。

~「よい子の一日」に全てのきまりを記載す
ることはできません。(100も200も)

『“髪は染めない”とは書いてありません』
こんな声が聞こえてきそうです。

学校が，“昭和..”(時代遅れ)なのでしょうか？
日本が、世界から遅れているのでしょうか？
校長が，“昭和”だから..話にならない？

「よい子の一日」に記載されてはいませんが、
『安積二小は，“髪を染めてもいい学校・髪色
が自由でうらやましい学校”ではないこと』
を校長から確認します。

きまりなら守る..のであれば、検討します。
1学期末の「いいなあ」「私も..僕も..わた
しも..」の増加傾向に対して、発信します。
夏休みに、ご家庭で，“髪を染めること”に
ついて話題にしていただけたら幸いです。

◆◆ 校長室より ◆◆

ダンスチームの子(前任校で)

ダンス発表会に向けて、金曜の放課後に髪を
チームカラーに染めて土曜・日曜の発表会参加。
月曜には、元にもどして登校。(でも、編みだけは、
もうちょっと..このままでいいですか?)担任の先生に
理由を伝えるご家庭もありました。この子たち
は、全力でキレッキレの発表を披露して、月曜
は、いつもの自分で授業にも全力集中でした。

発表会を見に行ったら、学級の友だちみんなか
ら、「すごかったね!」「かっこよかったよ!」
たくさん応援されていました。(私からも..)